

青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

令和5年度 柿中生徒会スローガンは「挑戦する柿中」

校長 大塚 啓

大型連休が終わり、生徒の活動も本格的に盛り上がってくる時期を迎えております。校舎周辺の木々や草花もみずみずしい姿を見せ、学校花壇のハマナスは白とピンクのきれいな花を咲かせ始めています。当校では、連休直前からインフルエンザが流行し、学年によっては学級閉鎖をせざるを得ない事態となりました。今後、感染症に留意しながら教育活動を進め、今年も生徒に大きな花を咲かせてほしいと願っているところです。



5月8日に行われた生徒総会の様子

さて、先般、今年度1回目の生徒総会が開かれました。生徒は一人一台のタブレット端末を体育館に持ち込み、生徒会の基本方針やスローガン、今年度の諸活動、予算案等について審議を行いました。実は、4月のある日、山賀生徒会長と丸田副会長、山本副会長の三人が校長室に訪ねてきて、「今年の生徒会の目指す姿」について話を聞く場面がありました。その時、三人は次のような思いを私に語ってくれました。

リーダー研修で話し合っ、今年の生徒会スローガンは「挑戦する柿中」にしました。先輩からの伝統を引き継いだ私たちは、更に一歩前進したいと思っています。失敗を恐れず、全校生徒みんなが笑顔で、いろいろな活動に挑戦していきたいです。そして、柿中生全員が発信力を高め、地域や社会に貢献する活気のある一年にしたいです。・・・

・・・5月の体育祭は、スローガンは「完全燃笑」です。「笑」という字を使ったのは、柿中生全員が勝利に向かい、「全力で戦う姿」と「爽やかな笑顔」が交差する行事にしたいからです。私たちの姿を保護者や地域の皆さんに見ていただくことで柿崎地域全体が盛り上がるようにしたいと思っています。・・・

私はその三人の生徒の思いを聞いて、とても感動しました。柿崎地域のことを思いながら、自分たちに何ができるか、ただ行事をやって「楽しかった」で終わるのではなく、そのもっと先の理想を生徒会全体で目指したい、そんな気持ちが伝わってきたからです。こんな思いをもつ柿中生を職員が力を合わせ、応援していこうと、気持ちを新たにしました。

令和5年度、柿崎中生徒会は保護者、地域の皆様のご支援を受けながら順調なスタートを切っています。今後とも、教育活動へのご支援とご協力を賜りますとともに、柿中生徒へ温かな励ましの言葉を掛けていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

柿中生徒会の挑戦

生徒会は、1年間を5期に区切り、それぞれの期間に設定した全校目標に即して、各学級のスローガンを決めています。4・5月の共通目標は「新しい学級で人の気持ちに気づき、人とのつながりを正しくつくる」です。

各学級で決めたスローガンを念頭に学校生活を見渡すと、スローガンに通じる行動に出会うことができました。

1 きずなづくり期 (4月・5月) 人と接するときには 生活向上キャンペーン 温かい春の心

新しい学級で人の気持ちに気づき、
人とのつながりを正しくつくる



1年生スローガン

- ◎自分の意見をしっかりと言い、仲間の意見をしっかりと聞く。
- ◎みんなで教え合い、仲の良いクラスにする。



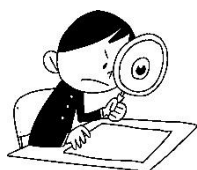
生徒総会へ向けた学級討議



昼休み、楽しく仲間と卓球



保護者が参観する中でのグループ活動



2年生スローガン

- ◎困っている人がいたら積極的に声をかけたり、手伝ったりしよう！
- ◎相手の気持ちを考え、思いやりのある発言や行動をしよう。



青軍の軍集会



協力して放送器具を運ぶ生徒



学年レクで仲間を応援



シャボネット補充中



紅軍の軍集会



3年生スローガン

- ◎全員が一つのことに集中して聞くとときは聞く！！話す時は話す！！
- ◎新しい学級の友達と仲良くする！みんなで体育祭に全力で取り組む！



1～3年生で気持ちをそろえて行う応援練習



話す人の方向に体を向けて聞く全校集会